

事業実績書

団体名 あやベネットワーク

<p>事業の目的 (何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。)</p>	<p>条例施行後5年間の歩みを振り返るとともに、市民へのさらなる理解を促進する啓発を主なねらいとする。 条例の柱にあるよう、市と市民が両輪となって実施する。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>手話コミ条例5周年記念事業</p>
<p>事業費 (市補助金)</p>	<p>134,053 円 ( 40,000円 )</p>
<p>補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。)</p>	<p>イベントに係る資料の印刷製本費 会場使用料</p>
<p>事業実施期日</p>	<p>令和5年7月16日</p>
<p>事業実施場所</p>	<p>あやべ・日東精工アリーナ</p>
<p>事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)</p>	<p>平成30年4月に施行された「綾部市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例」の暮らしへの具体化に向けて、5周年の節目となる令和5年に広く市民への啓発活動としてのイベントを実施する。</p> <p>あやベネットワークでは、聞こえない人がいることに気付いてほしいという思いで、これまでもコミュニケーションボードの設置活動などに取り組んできた。 条例施行5周年をきっかけに、聞こえないこと、聞こえにくいことを市民に自分事として感じてほしいと、啓発イベントを開催。</p> <p>イベントでは那須かおり氏を招き、記念講演を開催したほか、あやベネットワーク構成団体でシンポジウムを実施した。 集合形式、午後13時～16時で開催した。 条例に係る全国的な取り組み、活動を学び、綾部市での今後の活動のヒントとなるイベントが開催できた。</p>
<p>補助金の効果(成果) (得られた成果を記入してください。)</p>	<p>(1) 記念講演として、一般社団法人4Hearts代表那須かおり氏を講師に迎え「越境するコミュニケーションの可能性」をテーマに講演いただいた。聞こえない、聞こえるに関係なく、お互いがコミュニケーションについて理解を深めていく必要があると啓発ができた。</p> <p>(2) あやベネットワーク所属の4団体(聴覚障害者協会綾部支部・中途失聴・難聴者協会綾部支部手話サークルあやとり・要約筆記サー</p>

クルみみずく)の代表者によるパネルディスカッションを行った。5年間の歩みを振り返り、具体的な今後の展望について会場の参加者も含め深めることができた。

(3)手話体験、要約筆記体験コーナーを設け、子どもから大人までだれでも手話や要約筆記に触れる機会をつくることができた。

(4)キッズコーナーでは紙飛行機体験を企画し、多くの子どもたちに楽しんでもらえた。

(5)バザーコーナーでは、6事業所が出店し、会場を盛り上げると共に聴覚障害者に優しい接客について啓発する機会になった。

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和5年9月20日

団体名 あやベネットワーク

（単位 円）

		区 分	予算額	収入済額	明 細
収入の部		市補助金	40,000	40,000	
		あやベネットワーク事業会計	80,000	94,053	
		合 計	120,000	134,053	
支出の部		区 分	予算額	支出済額	明 細
		報償費	60,000	69,000	講師謝礼 50,000 コーディネーター他 19,000
		使用料	38,000	33,510	日東精工アリーナ 30,070 Wifi使用料 3,440
		印刷製本費	10,000	15,209	チラシ 2,849 当日資料 12,360
		消耗品費	7,000	6,929	用紙、ゴミ袋、養生テープ他 6,929
		事務費	5,000	9,405	広告料 9,405
		合 計	120,000	134,053	
		差 引	0	0	